

あいち防災協働社会推進協議会開催

推進テーマ「家具や書庫等の転倒防止」

防災協働社会の形成

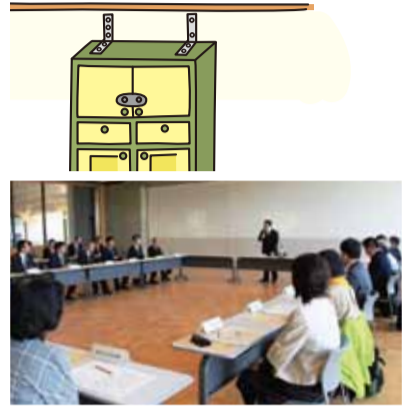
今後、発生が予想される東海・東南海・南海地震等大規模災害による被害を軽減していくためには、行政による「公助」、地域コミュニティなどにおける「自助」、民間一人ひとりの「共助」の3つが連携した防災協働社会を形成していく必要があります。その推進を目的として行政、事業者団体、地域団体、ボランティア等が参加する「あいち防災協働社会推進協議会」が平成19年7月に設立されました。

あいち防災協働社会推進協議会開催

平成23年11月13日、あいち防災フェスタの開催に合わせ、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）地球市民交流センターにおいて、あいち防災協働社会推進協議会を開催しました。協議会には知事を始め、21名の委員とアドバイザーである名古屋大学の福和伸夫教授、アドバイザーとして内閣府から名執潔参事官が出席されました。

家具や書庫等の転倒防止

本協議会では、平成22年4月の幹事会において決定された推進テーマ「家具や書庫等の転倒防止」について、減災効果が高いにも関わらず取り組みが進んでいない現状を踏まえ、継続して推進していくことが決定されました。



協議会の様子

チェックガイドによる点検

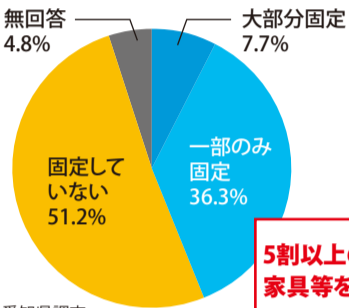
また、東日本大震災の発生を受け、常日頃から災害発生前に準備をしておくことが重要であり、災害発生後に留意すべきこともたくさんあることが浮き彫りになりました。このため、必要な理由や背景を掲載したチェックガイドを作成し、県民運動として展開することが決定されました。

防災人材の育成

地域防災力を向上させるためには、その担い手である人材の育成が重要です。平成22年12月から、有志による検討会を設置し、防災人材の育成について議論してきましたが、この検討会を本協議会の正式な検討会として位置付け、さらに検討を重ねていくことが決定されました。

防災(地震)に関する意識調査

Q.家具や冷蔵庫などの固定をしていますか？



5割以上の方が家具等を固定していない

平成22年1月愛知県調査



委員ら

あいち防災協働社会推進大会(あいち防災フェスタ) 防災&ボランティアフォーラム開催



大村知事あいさつ

協議会閉会后、モリコロパーク大芝生広場にて、自主防災会や事業者団体、ボランティア団体などが一堂に会する、あいち防災協働社会推進大会(あいち防災フェスタ)を開催しました。

また、災害時のボランティア活動について関心を深めていただくための「防災&ボランティアフォーラム」も同時に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、約6,800

人の方にご来場いただき、防災協働社会の実現に向けた機運の醸成を図ることができました。

オープニングセレモニーは大村知事のあいさつから始まり、最後に防災貢献団体の表彰が行われました。防災貢献団体の表彰とは、防災協働社会の実現に向けて日頃から地域の防災活動に積極的に取り組み、愛知県の防災活動に貢献された団体を表彰するものです。今年度は自主防災組織6団体に知事感謝状が贈られました。

オープニングセレモニーが終了すると、ステージでは愛知県警察音楽隊とフレッシュ・アイ

リスによる演奏・演技や尾張旭市立旭小学校鼓笛隊による演奏、KIDSぼうさいキャラバン隊によるクイズ大会など、楽しい催しものが続きました。

会場となった大芝生広場には、災害用伝言ダイヤル171の体験や家具転倒防止器具取り付けの実演、災害対策用ロボットの操作など、来場者の目を引く



旭小学校鼓笛隊演奏

ブースが出展されるとともに、救急車や高機動車、災害対策車など普段は触れることのできない車両の展示や、愛知県の地震体験車「なまず号」による地震体験も行われました。

来場者からは「子どもと一緒に防災について学ぶことができ、良い機会となった」、「初めて地震体験車に乗り、揺れの大き

さにびっくりした」など、楽しみながらも防災を学ぶきっかけとさせていただけたようです。



会場の様子



防災貢献団体の表彰

大府市横根 自主防災会

市の「防災モデル地区」の指定を受けた実績もあり、災害時要援護者のいる世帯と搬送に必要なリヤカーなどを所有する世帯を掲載した「災害時要援護者マップ」を全世帯に配布しています。また「防災・防犯助け合いの隣組」と名付けた小単位での世帯分けを行い、「向こう三軒両隣」の精神で地域防災力の向上に努めています。

東海市南ヶ丘 町内会 自主防災会

防災専門部を組織し、定期的に防災会議を開催すること意見交換を行い、地域の防災力強化に努めています。また、防災資機材等を常時点検し保管状況を把握したり、町内会全戸を対象に「防災アンケート」を実施し、結果を町内会で共有するなど、日頃から防災に対する意識の向上に努めています。

安城市古井町 自主防災会

毎回大勢の住民が防災訓練に参加し、昨年は避難所体験訓練を実施し、小学校の体育館に宿泊しました。この体験を踏まえ、昨年度の3月には、避難所生活におけるルールや避難所内配置図、また、避難所生活のために家庭で揃えておきたい必需品などをまとめた「避難所生活の手引き」を作成し、独自の防災啓発に取り組んでいます。

幸田町横落区 防災会

地区の避難場所や消火栓、防火水槽、防災倉庫の場所を示した「横落区防災・防犯マップ」を作成し、全戸へ配布するとともに、回覧板へ貼り付けたり、コミュニティセンターに掲示するなど、防災意識の向上に努めています。また、役場や地元企業、ボランティア団体、消防団と連携し、東海地震を想定した防災避難訓練を行うなど防災協働社会の実現に向けた活動を行っています。

武豊町北山区 自主防災会

地区の住民が実際に地域を歩き、避難場所や危険箇所等を地図にまとめた「北山区防災マップ」を全戸に配布し、地域の防災意識の向上に努めています。また、定期的に防災訓練や家具転倒防止金具設置の啓発などを行うとともに、災害時要援護者を支援する人を対象とした講座を行うなどしています。

岩倉市南新町 自主防災会

地区の総合防災訓練は、避難誘導訓練だけではなく、家屋倒壊時の救出訓練や炊き出し及び給水訓練、独自に作成した要援護者台帳をもとに行う安否確認・救助訓練など、より実践に即した内容となっており、毎回200名以上の住民が参加しています。また、警報装置を町内10か所に設置し避難誘導に役立つなど安心安全なまちづくりにも取り組んでいます。

平成23年度 防災貢献団体を紹介します!

